



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月31日

上場会社名 アルメタックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5928 URL <http://www.almetax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 村治俊哉

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 藤井義博

TEL 06-6440-3851

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,264	4.8	232	—	332	330.5	290	—
2021年3月期第3四半期	6,934	△14.3	△50	—	77	△26.7	△813	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	28.08	—
2021年3月期第3四半期	△78.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	11,338	8,586	75.7	830.31
2021年3月期	10,640	8,383	78.8	813.51

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,586百万円 2021年3月期 8,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5.00	—	1.00	6.00
2022年3月期	—	4.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	7.4	200	—	310	308.5	270	—	26.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	11,912,515 株	2021年3月期	11,912,515 株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,571,569 株	2021年3月期	1,607,575 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	10,328,971 株	2021年3月期3Q	10,304,972 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社の経営成績は、売上高につきましては、主力製品である新設住宅用建材及びリフォーム用住宅建材は、新設住宅着工戸数が底堅く推移いたしました。前期から継続する新型コロナウイルス感染症の影響もあり前年同期を上回ったものの伸びなやみ、厳しい経営環境が続いております。収益につきましては、生産性の改善及び総費用の削減に継続して取り組んだ成果に前期に実施した減損の効果も相まって、前年同期を大きく上回る結果となりました。

その結果、売上高につきましては、72億6千4百万円（前年同期は69億3千4百万円、4.8%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益で2億3千2百万円（前年同期は営業損失5千万円）、経常利益で3億3千2百万円（前年同期は7千7百万円、330.5%増）、四半期純利益は2億9千万円（前年同期は四半期純損失8億1千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前事業年度末に比べて6億9千8百万円増加して113億3千8百万円となりました。主な内容としては現金及び預金が2億4百万円、受取手形（電子記録債権を含む）及び売掛金が4億6千7百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べて4億9千5百万円増加して27億5千2百万円となりました。主な内容としては支払手形及び買掛金が4億3千9百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて2億3百万円増加して85億8千6百万円となりました。主な内容としては利益剰余金が2億3千8百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想については、2021年11月10日発表の2022年3月期第2四半期決算短信に記載しました2022年3月期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,346,578	1,551,303
受取手形及び売掛金	1,022,917	1,230,067
電子記録債権	2,129,967	2,389,830
商品及び製品	129,295	157,494
仕掛品	10,599	10,131
原材料及び貯蔵品	528,907	586,631
その他	139,213	185,301
貸倒引当金	△2,679	△3,076
流動資産合計	5,304,800	6,107,682
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	809,052	788,021
土地	1,465,142	1,465,142
その他(純額)	61,716	78,491
有形固定資産合計	2,335,910	2,331,654
無形固定資産	9,093	8,944
投資その他の資産		
投資有価証券	1,574,107	1,456,779
関係会社株式	1,302,302	1,354,416
その他	117,899	82,996
貸倒引当金	△3,773	△3,773
投資その他の資産合計	2,990,537	2,890,419
固定資産合計	5,335,542	5,231,018
資産合計	10,640,342	11,338,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,126,659	1,565,720
未払法人税等	14,567	33,113
賞与引当金	154,800	144,396
役員賞与引当金	-	14,271
製品保証引当金	8,056	7,709
その他	266,019	308,036
流動負債合計	1,570,102	2,073,247
固定負債		
退職給付引当金	179,034	177,547
その他	508,017	501,693
固定負債合計	687,051	679,240
負債合計	2,257,154	2,752,487

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160,418	2,160,418
資本剰余金	2,584,575	2,585,585
利益剰余金	2,799,829	3,038,174
自己株式	△399,188	△390,260
株主資本合計	7,145,634	7,393,918
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,186,439	1,141,181
土地再評価差額金	51,113	51,113
評価・換算差額等合計	1,237,553	1,192,295
純資産合計	8,383,188	8,586,213
負債純資産合計	10,640,342	11,338,701

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	6,934,274	7,264,191
売上原価	5,727,987	5,768,858
売上総利益	1,206,287	1,495,333
販売費及び一般管理費	1,257,051	1,262,612
営業利益又は営業損失(△)	△50,763	232,721
営業外収益		
受取利息	39	30
受取配当金	78,108	77,183
仕入割引	4,846	3,833
助成金収入	40,314	14,346
その他	5,744	5,162
営業外収益合計	129,053	100,556
営業外費用		
売上割引	740	663
その他	332	154
営業外費用合計	1,072	818
経常利益	77,217	332,459
特別利益		
固定資産売却益	-	56
特別利益合計	-	56
特別損失		
固定資産除却損	17	370
減損損失	796,984	-
特別損失合計	797,002	370
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△719,784	332,145
法人税、住民税及び事業税	12,228	26,000
法人税等調整額	81,481	16,131
法人税等合計	93,709	42,131
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△813,493	290,014

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料等の顧客に支払われる対価の一部について、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高並びに販売費及び一般管理費はそれぞれ3千9百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。